

学校名	沖縄県立那覇西高等学校	単位数	1	使用教科書名（会社名）	高等学校保健体育（第一学習社）
-----	-------------	-----	---	-------------	-----------------

1.科目の目標

柱書	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。
知識及び技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
思考力, 判断力, 表現力等	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
学びに向かう力, 人間性等	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2.指導と評価の計画

学期	内容の まとめり	単元名と学習内容	評価方法	時 数	観点別評価		
					知	思	態
1	(1) 現代社会と健康	(ア) 健康の考え方_国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること。	ノート 観察	4	○	○	○
		(イ) 現代の感染症とその予防_ 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があること。★生命の安全教育に関すること（距離感や性暴力及び二次被害など）	ノート 観察 ワークシート	5	○	○	○
		(ウ) 生活習慣病などの予防と回復_ 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であること。	ノート 観察	4	○	○	○
2	(1) 現代社会と健康	(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康_喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になること。また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。それらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であること。	ノート 観察	7	○	○	○
	(2) 安全な社会生活	(オ) 精神疾患の予防と回復_精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であること。また、疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であること。	ノート 観察 ワークシート	5	○	○	○
		(ア) 安全な社会づくり_安全な社会づくりには、環境の整備とそれに応じた個人の取組が必要であること。また、交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じること。	ノート 観察	4	○	○	○
3	(2) 安全な社会生活	(イ) 応急手当 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。また、応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること。心肺蘇生法などの応急手当を適切に行うこと。	ノート 観察 ワークシート	4	○	○	○